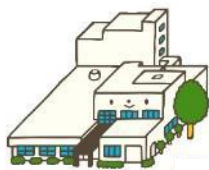


子どもの読書活動推進センター通信

2023.8
No.004

～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～



西部図書館



中央図書館



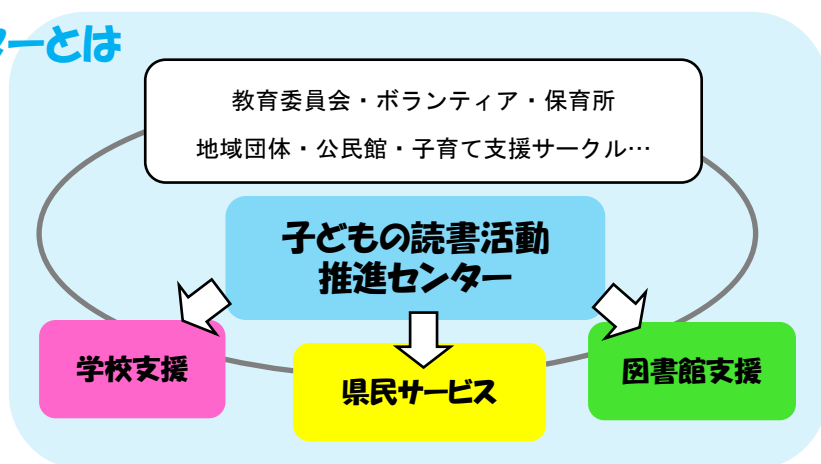
東部図書館

もくじ

| | |
|------------------|---|
| 子どもの読書活動推進センターとは | 1 |
| 特集 図書館の多文化サービス | 2 |
| 活動紹介 | 4 |

子どもの読書活動推進センターとは

子どもの読書活動推進センターは、子どもの読書活動の推進に関し、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者などの連携の拠点（センター）となる組織で、県立図書館内のプロジェクトチームとして活動しています。



*令和4年度『世界とふれあうおはなし会』中国語の会

次頁では、特集「図書館の多文化サービス」についてご紹介します！

図書館の 多文化サービス

いま、日本には日本語を母語としない人もたくさん生活しています。

図書館はだれもが利用できる施設です。すべての人が平等に図書館を利用できるように、利用者に合わせてサービスを行っています。

令和4年度には千葉県立生浜高校と連携し、『世界とふれあうおはなし会』を実施しました。今回は、図書館の多文化サービスと、世界とふれあうおはなし会の様子を紹介します。

文化的・言語的背景が異なることで、図書館のサービスや資料を利用しにくい方を主たる対象としたサービスを「多文化サービス」といいます。図書館では、地域にどの国から来た方が多いのか、ニーズのある言語や情報は何か、調べながら多文化サービスを行っています。

日本では日本語の出版物や日本語で書かれた情報が主流を占めることから、日本語を母語としない人にとっては必要な情報が得られないという課題があります。

図書館では、日本語以外の出版物を用意したり、図書館からお知らせするときに日本語以外の言語で発信したり、「やさしい日本語」を使って発信するなど、資料や情報発信の工夫をしています。それだけでなく、日本に暮らす文化的・言語的少数者が、図書館にあるさまざまな資料を通じて自国の情報を調べたり、文化に触れる機会を作るために、資料を用意したり、イベントを行ったりします。

多文化サービスは文化的・言語的少数者のためだけではありません。図書館のある地域に暮らす人々が資料等を通じてほかの国の文化や言語に親しみ、理解を深めることで多文化共生社会を作っていくためのきっかけにもなります。

子どものための 「多文化サービス」とは

子どもとひとくちにいても、0歳から18歳まで幅広く、年齢によって読むものも、興味があるものも異なります。まずは、図書館が子どもにとって行きたくなる場所であること、そこで安心して過ごせることが大切です。外国につながる子どもたちに彼らの母語の書籍、特に絵本を用意することや、多言語でのおはなし会を開催するなど、子どもに対してできること、年齢に合わせて必要なことを行っていきます。

●参考 日本図書館協会、多文化サービス Q&A

<https://www.jla.or.jp/committees/tabunka/tabid/901/Default.aspx>





世界とふれあうおはなし会

県立中央図書館では、令和5年2月12日(日)・19日(日)に「世界とふれあうおはなし会」を開催しました。1冊の絵本を外国語と日本語で交互に読み合うおはなし会です。県立生浜高等学校と連携し、スリランカ・ネパール・アフガニスタン・タイ・中国の5か国にルーツを持つ生徒に外国語で読んでもらい、県立図書館職員が日本語で読みました。また、それぞれの国の文化を紹介してもらいました。



準備

事前に外国語の絵本を高校に送り、生徒に絵本を読み込んでもらうとともに、県立図書館職員が生浜高校に出向き、絵本の持ち方や読み方についてのミニ講座を行いました。

いよいよ本番です

2月12日は、シンハラ語・ネパール語・ダリ語、2月19日は、タイ語・中国語・ダリ語のおはなし会を開催しました。

始まる前は緊張していた生徒も、本番では堂々と読んでくれました。

絵本を読んだ後は、各言語のあいさつについて、発音と文字を教えてもらいました。

初めて見る文字には、子どもだけでなく大人からも感嘆の声が上がっていました。



〈初めて見るシンハラ語〉

プログラム

- 2月12日(日)
 - 【シンハラ語】『ぐりとぐら』(中川李枝子 さく 大村百合子 え 福音館書店)
 - 【ネパール語】『雨』(中村房子 絵・文 石風社)
 - *ネパール語ネワリー語併記 スーマン・シュレスタ 訳
 - 【ダリ語】『のどが渴いたカラス』*日本語はシャンティ国際ボランティア会の翻訳
- 2月19日(日)
 - 【タイ語】『おとうさんあそぼう』(わたなべしげお ぶん おおともやすお え 福音館書店)
 - 【中国語】『ロンポポ』(エド・ヤング再話 絵 藤本朝巳 訳 古今社)
 - 【ダリ語】『いたずらなキツネとやさしいソウ』
 - *日本語はシャンティ国際ボランティア会の翻訳

読書感想画展

「読書感想画」は、読書によって得た感動を絵画表現することを通し、児童・生徒の読書力、表現力を養うとともに、読書活動の推進を図ることを目的に開催されています。昭和58(1983)年に近畿地域から始まり、平成元(1989)年からは毎年「読書感想画中央コンクール」が開催されています。

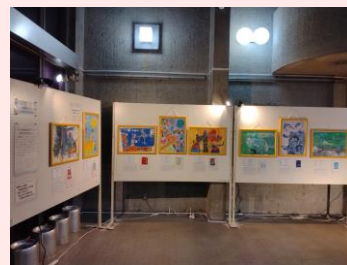
昨年度、千葉県内で入賞した作品を、千葉県立中央図書館正面玄関受付前にて、本とともに展示しました。今年度も12月に入賞作品を展示予定です。ぜひご来館ください。

今年度のコンクールの詳細は、「第34回読書感想画中央コンクール」のHPをご覧ください。

第34回読書感想画中央コンクール

ホームページはこちら

<https://www.dokusyokansoubun.jp/kansouga/>



県立中央博物館で おはなし会を します！

平成26年に地域文化発信を目的とした『博物館・図書館・公民館との連携による地域文化発信事業』を実施したことをきっかけに、千葉県立中央博物館と千葉県立中央図書館とで連携して展示とおはなし会を行っています。

千葉県立中央博物館では、令和5年7月15日(土)～令和5年9月18日(月・祝)まで、特別展示が行われます。テーマは『千葉県誕生150周年記念事業・令和5年度特別展 よみがえる



チバニアン期の古生物』です。展示に合わせて、博物館でおはなし会を行います。

令和5年9月10日(日)午後です。ぜひご来場ください。

千葉県立中央博物館の展示については [こちら](http://www2.chiba-muse.or.jp/NATURAL/)をご覧ください。

<http://www2.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>

センターの活動内容などの詳細は、千葉県立図書館ホームページ内にある「図書館のご案内」に掲載しています。

[千葉県立図書館ホームページ](https://www.library.pref.chiba.lg.jp) <https://www.library.pref.chiba.lg.jp>



千葉県立図書館の情報を
X(旧twitter)で発信中

@chibaken_lib

子どもの読書活動推進センター通信

～子どもの読書をめぐる人々をつなぐ架け橋～

No.004 2023年8月17日発行

千葉県立中央図書館

〒260-8660 千葉県千葉市中央区市場町11-1

TEL: 043-222-0116(代表) FAX: 043-225-8355